



知的探検うつくしま

今回のテーマ **認定こども園**

認定こども園ってなに？

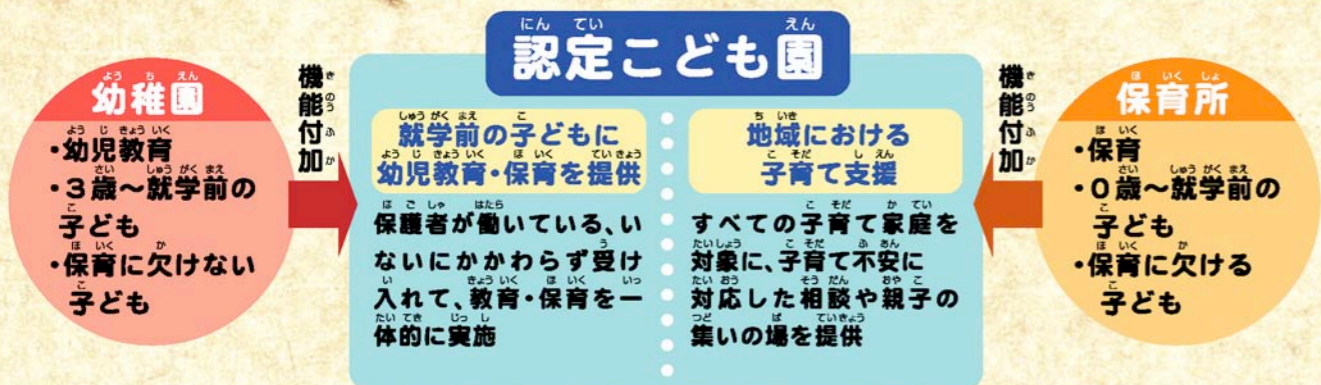
幼稚園と保育所の両方の役割を持っていると認定された施設です。具体的には、①小学校入学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能、②地域における子育てを支援する機能を備えた幼稚園、保育所などで、都道府県知事の認定を受けた施設をいいます。平成18年10月から制度がスタートしました。

なぜ、認定こども園ができたの？

少子化の進行や子育てに対する保護者の多様なニーズに対応するためです。

- 保育所は保護者が働いているなど、日中子どもの面倒をみる人がいない場合にしか利用できない
- 少子化が進み、幼稚園・保育所別々では子どもの集団ができていく
- 保育所の利用児童数が増え、入れない子どもがいる一方で、幼稚園の利用児童数は減少している
- 育児不安を持つ専業主婦などが増えているが、支援が足りない

認定こども園と幼稚園、保育所の違い

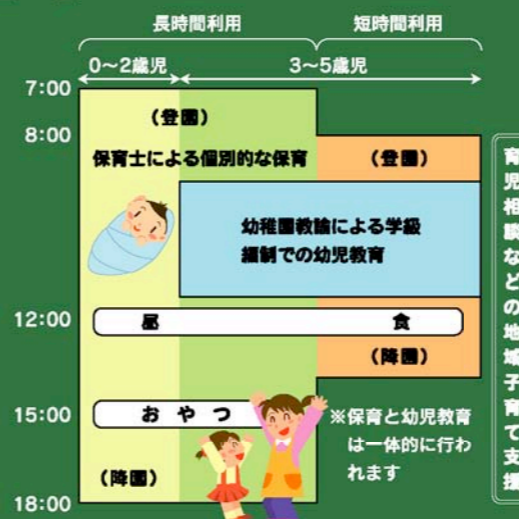


<認定こども園の特徴>

- 保護者の就労の有無に関わらず、子どもを預けることができる
- 子どもの育ちに大切な子どもの集団を作りやすい
- 幼稚園などの活用により、保育所に入れなかった子どもを受け入れることができる
- 子どもが通園していない家庭でも、育児相談などの子育て支援が受けられる

Q 認定こども園の一日ってどうなの？

A ある認定こども園の一日の例です。



問 県庁子育て支援グループ ☎024(521)7175

HP <http://www.pref.fukushima.jp/jidou/>
うつくしま子育て支援ホームページで認定こども園に関する情報を提供しています。



データでみるうつくしま 人口ピラミッド編

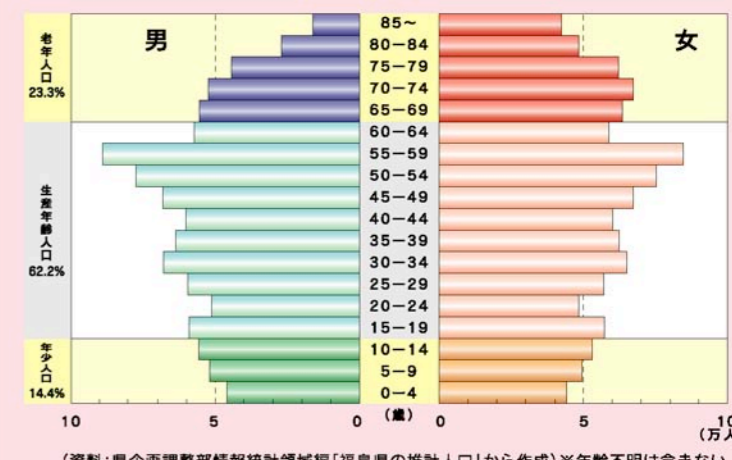
平成19年の人口ピラミッドをみると、いわゆる「団塊の世代」を含む55～59歳の人口が最も多くなっています。一方、20～24歳の人口は、進学、就職などで県外に転出するため少なくなっています。昭和55年の人口ピラミッドと比較すると、年少人口の割合の減少(人口総数の22.9%から14.4%)と老年人口の割合の増加(人口総数の10.5%から23.3%)の状況、生産年齢人口では高齢化の状況がわかります。

少子化による出生数の減少や、県外転出による若者世代の減少が、県の人口構造に変化をもたらしています。



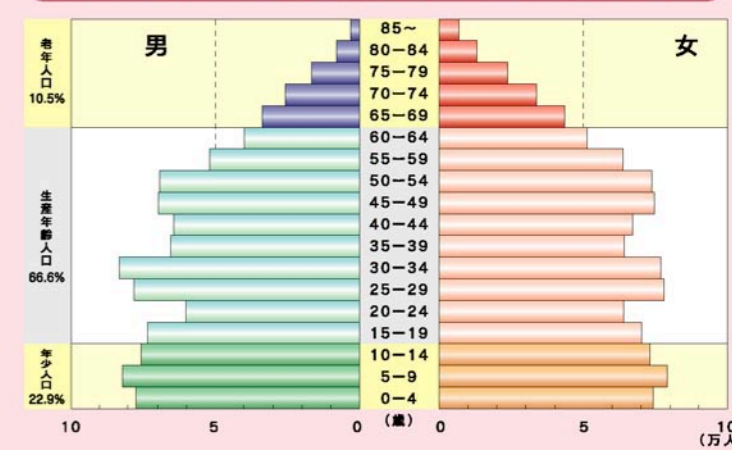
福島県の人口ピラミッド

平成19(2007)年(1月1日現在) [人口総数2,079,273人]



(資料: 県企画調整部情報統計課編「福島県の推計人口」から作成) ※年齢不明は含まない

昭和55(1980)年(10月1日現在) [人口総数2,035,272人]



(資料: 総務省統計局編「国勢調査報告(昭和55年)」から作成)